

令和4年度第1回在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議報告書

1. 開催日時 令和4年5月26日（木） 午後2時から4時まで
2. 開催場所 市役所東庁舎3階 会議室302
3. 出席者 森谷委員、布施委員、近藤委員、鈴木委員、土橋委員
久米委員、福岡委員、鶴澤委員、岩崎委員、永井委員（欠席者：平野委員）
事務局 高齢者福祉課 竹内課長、村田係長、加藤、栗原、今井 健康課 松岡課長
白井駅前地域包括支援センター 櫻田、西白井駅前地域包括支援センター 大澤
白井中央地域包括支援センター村上
4. 傍聴者 6名
5. 次第
 - ・第1回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議
議題
 - (1)令和3年度在宅医療・介護連携事業および認知症総合支援事業の実績報告
 - (2)令和3年度認知症初期集中支援チームの実績報告
 - (3)令和4年度在宅医療・介護連携推進事業および認知症総合支援事業計画
意見交換
 - (1)アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の取り組みについて
6. 議事 以下の概要のとおり

事務局	○ 第1回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議 委員の自己紹介 交代事務局職員の自己紹介
会長	会長より、あいさつがなされる。
事務局	議題1 令和3年度在宅医療・介護連携事業および認知症総合支援事業の実績 報告について議題とする。事務局より説明を求める。
事務局 会長	(事務局より資料1：目指す姿①に関する取り組みについて説明) 資料1 目指す姿①に関する実績報告内容について意見を求める。
委員	医療情報キットとは、体調が悪くなった時に、救急車を呼んだ場合キットの中に 情報を入れて冷蔵庫に入れて緊急時に使う取り組み。消防から意見はあるか。
委員	消防としては、コロナ禍にもかかわらず、普及数は伸びているのが素晴らしい と思う。かなり情報が取れていて有効であると感じている。
会長	個人的に素晴らしいシステム。これをどのように情報をブラッシュアップして いくかが課題（新しい情報にしていくことが課題）だと個人的には思う。
委員 事務局	救急医療情報シートは、現状はどのような方に配布しているのか。 65歳以上の一人暮らし、高齢者世帯、日中独居の人、又年齢を問わず障がい 者手帳を持っている人など希望者に配布している。

委員	生活安全課、刑事課などかかわるときに、現場（自宅）に行くと亡くなっている人もいます。その時に、警察としてキットの中の情報はみられるのか。いろいろ個人情報などもあるのでどうか。
会長	警察が使っていいとは明記されていないが、救急時、緊急時に使っていいと明記してあるので緊急時ということで、ひろくとることで問題ない。
事務局	緊急時は、救急隊、市役所支援関係者などと共有する場合はと但し書きを加えているので大丈夫です。
会長	目指す姿②についての説明を求める。 (事務局より資料1：目指す姿②に関する取り組みについて説明) (意見なし)
会長	目指す姿③についての説明を求める。 (事務局より資料1：目指す姿③に関する取り組みについて説明)
会長	ICTとはラインみたいなものを共有しようというもので、介護、看護師の人たち事業所とグループを作り患者さんごとに部屋を作っておくもの。私は毎日使っているが、例えば、熱が出たので抗生剤を出したため、明日、自宅へ行ったときに様子を見てもらえませんかとか、介護事業所の方が行ったときに2～3日前から便が出ていないがどうかとか、薬を服薬することは大事だが、今日行ったら、飲むべき薬がごっそり隠されていたとか、情報共有に便利なもの。個人情報もまもられている。
会長	他、徘徊高齢者に関する報告もありましたが、警察としては徘徊についてはどうか。
委員	もし、家族の方で過去に徘徊した人がいれば着ているものなどに名前や連絡先を書いてもらえればと思う。
会長	どこに名前を書くかなど、以前話しにでていたと思います。ありがとうございました。
会長	目指す姿④についての説明を求める。 (事務局より資料1：目指す姿④に関する取り組みについて説明) (意見なし)
会長	目指す姿⑤についての説明を求める。 (事務局より資料1：目指す姿④に関する取り組みについて説明) (意見なし)
会長	議題2 認知症初期集中支援チームの実績報告について議題とする。事務局より説明を求める。 (意見なし) (事務局より資料2について説明)

会長	<p>議題3 令和4年度在宅医療・介護連携推進事業および認知症総合支援事業計画について議題とする説明を求める。</p> <p>(事務局より資料3説明)</p> <p>在宅医療後方支援制度については、大変お世話になっている。クリニックだと24時間365日の体制になっているので、後方支援として、市内の3病院については患者の受け入れしていただけることには大変ありがたい。ご意見お願いします。</p>
委員	<p>後方支援ということで、できる限り協力はしている。しかし、コロナ禍でなかなか受け入れも難しい現状もある。日中なら、PCR 検査などをして陰性を確認してから入院の受け入れができるが、それ以外の時間帯だとすぐに入院の受け入れは難しい状況ではある。できる限り協力をしていきたい。</p>
会長	<p>今年度、新設として災害をテーマにしているが、事務局としてそのあたりでの今年度の取り組みとしては何か考えがあるか。</p>
事務局	<p>国保のレセプトでしか件数を確認できないが、訪問診療を利用している人は令和2年度市内で1,000人ほど。すべての人の支援をすることは難しいと思う。その中でも電源が常に必要な、在宅酸素や人工呼吸器、人工心臓などを使っている人と絞ると市内では10人程度。まずは、そこからどのようにアプローチしていくかを具体的に考えていきたい。</p>
委員	<p>医療、介護の人たちが動くことも必要だが、災害時はより大変だと思う。その時に近くにいる市民同士の連携が大事だと思うので、市民との連携を考える必要があると思う。住民との連携が大事なのではないか。</p>
会長	<p>議題4 意見交換「アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の取り組み」について議題とする。説明を求める。</p>
事務局	<p>事務局から説明</p> <p>今の説明を聞いて一人ずつ、感想、意見などをお話ししてほしい。</p>
会長	<p>自分の親とも最後の時(亡くなる時)についてどうしたいか話をするが、そこまで、行きつくまでの間のことは想像がつかないままで話はしていない。少しずつ、このようなときはどうするなど、少しずつ具体的に聞いていったほうがいいかなとは感じている。</p>
委員	<p>どこまでの方にどのようにやっていくか。高齢者や疾患を限定するなど。リスクの高い人など少し絞ってやっていってもよいか。フォーマットの作成は大事だと思う。</p>
委員	<p>ケアマネができる看取り、学びの場の研修などをしてほしい。</p>
委員	<p>医療職だと介入ができるが、介護職から思いを聞き取るのは難しいと思う。実際の利用者の方で、救急車を呼ばないでほしいと希望していて、何度も話をしたが、家族の思いと本人の思いとの差があり難しい。</p>
委員	<p>ACP の言葉を知らない隊員もいる。救急搬送の要請で現場に行ったが、その場で家族が ACP の話し合いをしていて、1時間くらい現場にいた時もあった。今後隊員も勉強していきたい。</p>

委員	仕事柄、ACP の話をするときに第 3 者的な人を立会人としておくことも必要ではないか。きちんと話し合いをして、必要性を理解しないと殺人などになる可能性もあるかと思う。
委員	自分も最後は痛いのは嫌とか漠然としたものはある。今後地区社協でなるほど行政講座を利用し、勉強していきたい。
委員	以前に研修会で勉強したことがある。今後、医療、介護従事者ももっと知り、勉強していくことも必要と思う。自分も親と話せるかなど考えられる。話をするタイミングが大事。
委員	自分の親を看取ったが、親も最後までおいしいものを食べたいといていた。話をすることは大事だと思う。
会長	他に意見はあるか。 (意見なし) 以上で、本日の会議を終了する。